

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 港が丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

「Q1. 運動やスポーツが好き。」「Q18.体育の授業は楽しい。」について、肯定的な回答をした児童は男女とも100%と、全国よりも大きく上回っていた。これは、授業の工夫改善が進んでいるからと思われる。また、運動やスポーツをすることの大切さが浸透しているといえる。この児童の回答が、体力の向上という結果に表れている。今後も、授業の工夫改善と空き時間の体力アップの取組に力を注いでいきたい。運動習慣については、女子の回答が男子より低かった。運動する機会を多く作りたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

児童の豊かな体・体力を形成するために、今年度も次の3つの視点に重点を置き、指導に励む。1. 体育科の授業における運動量の確保。2. 運動への関心を高め、運動に親しみ体力向上につながるような働きかけ。3. 規則正しい生活や望ましい食生活の実践化を目指した健康教育や食育の推進。更に、話し合い活動の機会を増やし、助言し合うなどして仲間とのつながりの強化を図る。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

本校は、1校1取組として、月曜日と水曜日の朝に体力アップの運動を全校一斉に行っている。次年度も引き続き行うが、内容をバージョンアップさせたい。体力アップ運動を紹介したプリントを家庭に配り、毎日の宿題の一つとして体力アップ運動の課題を出すことも続ける。2学期末から3学期にかけて中休みの「ランランタイム」も継続する。以上の取組により、運動を日常的に行わせる。